

2023-2025 調査研究事業  
すてっぷ事業に関する調査研究  
～利用状況と市民ニーズを中心に～  
(第1回 2023年度中間報告書)

2024年3月31日

とよなか男女共同参画推進センター すてっぷ  
(指定管理者：一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団)

## 【1. 調査研究概要】

2023年度～2025年度の3年計画にて実施中で、すてっぷ利用者を取り巻く背景や課題とニーズについて、利用統計データ、利用者に対するヒアリング等を通じた具体的な把握に努めます。調査結果から、すてっぷ利用者の状況を明らかにするとともに、効果的な事業展開について考察し、今後の各事業に反映していきます。

## 【2. 主な調査研究項目の内容】

- ・情報ライブラリーにおける利用状況、利用者ニーズ、提供や発信していくべきコンテンツや課題
- ・相談事業の利用状況から見える利用者層と背景、相談傾向、課題
- ・講座及び啓発事業の参加者から見える潜在ニーズ、課題

## 【3. 本調査研究のスケジュール】

2023年度（終了）	2023年4月	情報収集
	2023年6月	調査設計
	2023年9月	第一次ヒアリング等調査
	2023年12月	調査結果の検討
	2024年1月	調査結果まとめ
	2024年3月	第一次中間報告書
2024年度	2024年6月	利用統計データ分析
	2024年9月	（必要に応じて）第二次ヒアリング等調査
	2025年3月	第二次中間報告書
2025年度	2025年6月	調査結果の整理統合
	2025年9月	調査結果まとめ
	2025年12月	調査結果分析
	2026年3月	最終報告書

#### 【4. 中間報告における調査方法】

期間：2024年1月12日～29日

対象：すてっぷ情報ライブラリー利用者

方法：対面によるヒアリング調査

ヒアリングシート：巻末参照

#### 【5. ヒアリング対象者属性】

対象人数：5人

	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん
性別・年代	女性・60代	女性・20代	女性・30代	女性・40代	女性・70代
就業の有無	あり	なし(学生)	あり	あり	あり
居住地	豊中市	箕面市	豊中市	豊中市	豊中市
ライブラリー 利用歴	24年	1年	8年	4年	24年

#### 【6. ヒアリング調査概要】

1. 対象者（以下対象者）の現況  
(利用頻度や主な利用目的、所蔵内容含む情報拠点としての満足度)
2. 対象者の背景  
(来室当初の目的、利用することで自身の気づきや変化)
3. 対象者が望むこと  
(課題と感じていること、および期待)

#### 【7. ヒアリング結果（抜粋・要旨）】

##### I. 情報ライブラリー来室のきっかけ

- ・コロナ禍の気分転換として通えて、世間的にも閉塞的なムードが漂う中で情報ライブラリーが心の拠り所になっていた。
- ・働く中で社会における男女差別を実感し、原因を調べていくうちに「男女雇用機会均等法」の存在を知り、すてっぷへ辿り着いた。そこで、今まで自分が社会で感じた矛盾がストンと落ちて、資料の豊富さから頻繁に通うようになった。
- ・研究論文を書くために参考図書となる資料を探したら、大学図書館にはない資料がたく

さん所蔵されており専門図書の豊富さに驚いた。

- ・修士論文を書く際に、先行研究や関連図書を借りに来た。
- ・休みの日に買い物をしていて、たまたま立ち寄ったが土日も夜も開室していることに驚いた。

## II. 情報ライブラリーの特色

- ・他の施設で貧困問題に関する講座を受講した際、講師が紹介してくれた図書をネットで検索したところ（図書館や他の男女センター）、すてっぷのライブラリーにしかなかったことがあった。同様に映画の原作もすてっぷにしかないことがあった。
- ・男女共同参画推進センターのライブラリーなので、図書館とは異なりコンパクトに自分が探しているテーマにたどり着ける。
- ・分野ごとに、ジェンダー・人権の視点がある図書がたくさんあるので、一つのテーマであっても選択肢を広げることができる。
- ・手に入りにくいものや、知らなかった専門雑誌やミニコミもある。ジェンダー問題をとり上げる雑誌（作る人たち）があるということで、遠いところで志を同じくする人がいると感じられて嬉しい。
- ・研究論文のための資料を探しており所蔵があるかカウンターで聞いたところ、その場で情報相談を受けることができ知らなかった関連図書や情報を提供してもらい、その情報量の多さに驚いた。
- ・駅直結なため仕事帰りに気軽に立ち寄れるし、買い物のついでにも立ち寄れるから便利。
- ・小さいスマホの画面でサブスクを見るより、視聴コーナーを利用すると大画面でDVDを視聴できる。
- ・児童書コーナーはソファがあり、孫と一緒によく利用している。窓側の閲覧席と離れているため気兼ねなく読み聞かせでき助かっている。
- ・毎月変わるテーマ展示がとても興味深い内容で手にとりたくなる。
- ・コミックの所蔵があることを知らなかった、専門図書だけでなく気軽に女性問題を学べるコミックは手にとりやすい。
- ・参考文献が多く揃っているため、ひとつのテーマについて学びやすい。
- ・入口に掲示されている新刊案内に毎回目を引かれ、昨今の図書の流行を知ることができる。

## III. ライブラリー事業について

- ・育休中は社会との関りがなくなるような不安があると話す友人に、ぜひ保育つきライブ

ラリーを紹介してみたいと思った。

- ・保育つきライブラリーは、育休中でも休職中でも落ち着いて自身のライフプランについて考える良いきっかけになると思う。
- ・毎年冬に開催される本の福袋はテーマだけで選ぶ楽しみやワクワク感があり、スタンプカードも記念品が実用的なので、毎年楽しみにスタンプを集めている。

#### IV. 利用したことで気づいたことや自身のエンパワーメントにつながる変化

- ・今まで図書館などに行く機会はなかったが、すてっぷの情報ライブラリーを利用するようになって、空き時間に本を読むという選択肢が増えた。
- ・専門書をたくさん読んだことで自身の研究に関しても、研究テーマの見えていなかった部分を多角的に捉えられたことでより前向きに考えられるようになった。
- ・昔よりハラスメントに対して世間も敏感にはなってきていると感じるが、すてっぷの資料を読んでいると自分でさえ気づいていなかった社会からの女性への抑圧はまだまだあるなと気づかされた。自身の知識のアップデートの必要性を感じている。
- ・従来考えていたことは、単に自分が見てきたメディアからの情報や周りの大人の価値観に左右されていたに過ぎないことを実感。社会はもっともっと多様で、もやもやしていた違和感などに唆を与えてくれる情報や知識があることに気づいた。
- ・単に写真が好きということもあるが、ジェンダー問題をとらえた女性の写真集は、知的思考を刺激してくれるし、ものすごく面白く、固まった考え方を柔軟にしてくれると感じている。
- ・フリーランスの女性についての資料を読んですごく刺激を受けた。起業という発想がなかったが今は起業に向けて勉強するなど、自分自身がエンパワーメントされていることを実感している。

#### V. 情報ライブラリーに対して望むこと

- ・小学校低学年～中学年くらいが読める性教育やジェンダー平等についての本が少ないため、児童書の所蔵の幅をもう少し広げてほしい。
- ・小学生でも読めるような啓発情報誌（マンガちっくだと読みやすい）があれば嬉しい。
- ・藤枝ライブラリーの英文書がすごく面白く興味深い内容が多いので、もっと英文書を増やしてほしい。
- ・自習をしている学生が多いのは、少し残念に感じている。せっかくなので本も読んでほしいと思う。
- ・観葉植物やソファ（一人がけ）がもう少しあったら嬉しい。
- ・講座を受講して、知らないジェンダー問題のジャンルを知ったりするので、間口として

啓発講座の講師の著書をもっと増やしてほしい。

- ・藤枝ライブラリーの蔵書は貴重なものが多いため、新版の購入を検討してほしい。

## 【8. 中間報告としての振り返りと考察】

### ■ 資料の豊富さを利用者は評価

今回の調査で、対象者の利用目的は仕事で利用する資料探し、趣味のための読書、大学の研究テーマの資料探しなどさまざまでしたが、一貫して挙げられていたことは所蔵資料の豊富さです。

大学図書館になかった研究に関する文献を探した際、すてっぷのライブラリーには関連図書から行政資料まで豊富に揃っていたこと、レファレンスで提供された情報の多さ、利用しやすさがライブラリーに通い始めるきっかけになったという意見がありました。

また、アカデミックな文献だけではなく、ジェンダー問題をモチーフにしたコミックや児童書、作品集、映像作品など、多様なニーズに応えられる資料が一堂に閲覧できる便利さを、対象者は高く評価しています。

### ■ ジェンダー問題の専門図書室としての役割

対象者の多くは市立図書館も併用されていますが、目的によって使い分けているということが判明しました。ある対象者は話題の小説を探すときは市立図書館へ、自身の抱える課題がジェンダー問題かもしれないと感じたときや、日常でモヤモヤを感じたときにはすてっぷへというように市立図書館との用途の違いをうまく活用している行動が目立ちました。その利用者の多くが、情報ライブラリーだけでなく講座や相談などすてっぷをうまく活用し、自身のアイデンティティを確立していました。

男女共同参画社会の実現を設置目的とするセンターは多機能であり、ライブラリーは、図書館としての役割のほかに、性別に起因する諸問題に関し、利用者がエンパワーメントし、課題解決へ向かえる情報拠点としての役割を担っています。多様なニーズに対応し問題解決への糸口を探ることを前提にセンターの多角的な機能と連携しています。

具体的には、例えば就労に関して、ライブラリー所蔵資料によりライフプランを形成、就労相談、就労に必要な書類作成のためのパソコンの貸出、就活用スーツ貸出など、ワンストップで利用可能です。働くうえでの悩みから男女雇用機会均等法（雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律）を知り、すてっぷにたどり着いたという対象者もいました。

女性問題に関する豊富なトピックや最新の法律・制度を揃えることもジェンダー問題の専門図書室の重要な役割だと言えます。

### ■ “出会い”によるエンパワーメント

対象者からは、ライブラリーでの“出会い”についてもいろいろな意見がありました。差別

への気づき、メディアや大人に左右されていた価値観の見直し、起業という選択など、ステレオタイプにとらわれない価値観や生き方に出会う場であることがわかりました。

個人的に感じていたジェンダーの違和感に対し、ライブラリーの資料を通して自分だけが感じていたわけではない社会的な問題であるという気づきは、個人的なエンパワーメントであるとともに、男女共同参画社会の実現をめざす意義でもあります。

### ■新たなニーズの掘り起こし

対象者のヒアリングから、ジェンダー問題を扱う大学やゼミ生へ広報することで研究者支援の可能性を上げることができるとの示唆を得ました。また、性教育やジェンダー平等の児童書を増やしてほしいという要望は、未来を担う子どもたちには差別のない社会を生きしてほしいという願望だと理解し、ライブラリーへの期待と受け止めることができます。

ジェンダー専門の図書室は個人にとっても社会にとっても重要な役割を担う存在であるという視点に立ち、潜在している問題や背景を探り、可視化し、解決の一助となる情報の収集および発信に努めていかなければならないということが、今回のヒアリングを通して見えてきました。

また、2024年に施行される困難女性支援法（困難な問題を抱える女性への支援に関する法律）は、目的・理念に女性の福祉、人権の尊重や擁護、男女平等が明確に規定されました。豊中市では、女性総合支援事業として困難な問題を抱える女性からワンストップで相談を受け、相談者に対し同行支援、訪問支援の実施や関係機関と連携し、包括的で切れ目のない支援を行うため、2024年度に「女性総合相談窓口」が開設されます。一方で、すてっぷは指定管理者として、情報事業だけでなく指定管理事業のすべての利用者に対し、情報を介在して利用者ひとりひとりのエンパワーメントや支援につなげられるような情報提供や収集・発信を行うことが必要になってきます。

同じく2024年に改正DV防止法（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律）も施行されます。今後さらに、相談窓口や専門機関へつなぐなど、関連情報の提供だけに留まらない重要な役割を担うことになるため、すてっぷ内だけでなく、関連機関や民間団体とも情報の交換や収集を行い、指定管理者として支援につなげられるネットワークづくりも重要だと考えます。

### ■今後の調査研究事業の方向性と指定管理事業が果たすべき役割

次年度は、情報ライブラリー利用統計に加え、相談事業の利用状況の分析を行い、ニーズとすてっぷに求められる役割について明らかにする予定です。支援が必要な人を適切な相談先や支援へつなげる橋渡し役として、情報と情報の結びつきを強く意識しながら情報発信を行うとともに、情報と人をつなぐ役割を指定管理者として果たせるような事業展開が求められます。

別紙イメージ図（巻末：～ヒアリング結果からの考察～）のように、すてっぷの各事業が

特性を生かし、提供すべきサービスの充実を図ることで、第 3 次豊中市男女共同参画計画に沿ったより多角的な事業展開が可能になっていくと考えます。

## 【9. 付属書類】

### ・ヒアリングシート

	氏名：	年代：
① 対象者を取り巻く現況	1.どのくらいの頻度でライブラリーを利用しているか	
	2.現在の利用目的	
	3.ライブラリーの環境（空間、所蔵内容含め）に満足しているか	
② 対象者の背景	1.ライブラリーに来ることになったきっかけ	
	2.当初の利用目的	
	3.ライブラリー所蔵の資料でよく手に取るジャンル	

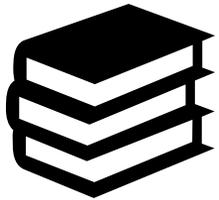
	4.そのジャンルに対する興味の有無、またはその理由
	5.ライブラリーを利用することで自身に変化したことはあるか
③ ライブラリーに対して望むこと	1.空間的に望むものはあるか
	2.今後所蔵してほしい資料はあるか
	3.今後ライブラリーを利用することで自身の展望に影響はあるか

## ～ヒアリング結果からの考察～

# すてっぷ情報ライブラリー及びすてっぷ指定管理事業が果たすべき役割

次年度実施予定の利用状況の分析から、利用者のニーズを探るとともに、情報資源となれるよう男女共同参画専門レファレンスの充実、関連する法律の制定などに伴うニーズへの情報提供を行うことで、市立図書館との違いを明確にするとともに情報の収集・発信に努めることが望まれると考えます。

情報  
ライブラリー



### 今後すてっぷが提供すべきサービス

関連法律に関する資料や情報の収集・提供・発信

男女共同参画専門レファレンスの充実と職員のスキル向上

ジェンダー専門図書室ならではの豊富な資料

相談事業



制定法律に伴い増加するであろう相談への支援

利用状況から見える相談者の背景と課題の分析

その他すてっぷ事業



スーツの貸出や就労相談など豊富なワンストップ就労支援

あらゆる啓発講座やアウトリーチ事業の拡大



第3次豊中市  
男女共同参画計画  
【基本課題より抜粋】

男女共同参画に  
関わる情報の収集と  
発信・提供

人権意識の育み

あらゆる性暴力への  
対策の推進

多様な  
働き方への支援  
【女性活躍推進計画】

2023-2025 調査研究事業  
すてっぷ事業に関する調査研究  
～利用状況と市民ニーズを中心に～  
(第1回 2023年度中間報告書)

発行年月日：2024年3月31日

発行者：とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ

(指定管理者 一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団)

住所：〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1-1-1-501

電話：06-6844-9735